

<広報の学校>

オンライン「入門危機管理広報講座」のご案内**(Zoom ウェビナー ライブ配信)**

— 11月27日(金) 10:00~16:00 —

広報の学校
(共同ピーアール株式会社)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本では最近も新型コロナウイルス問題、日産ゴーン事件、品質データ・燃費偽装、不正会計、過労死問題、情報漏洩、リコール、企業不祥事が続発し、ますます危機管理の重大さが身にしみて感じる日々が続いています。一方で『Facebook』『Twitter』『YouTube』といったソーシャルメディアが危機管理に大きな影響を与えるようになりました。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、危機に直面するケースが急激に増加しています。しかも、企業が危機管理(メディア対応)で失敗し、重大なダメージを被る事例も相次いでいます。

危機管理に対する関心が急激に高まり、危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション(危機管理広報)がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうすべきか
具体的に緊急時のメディア対応はどうすればいいのか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを習得する、危機管理面の対応能力向上のためのオンライン講座です。

当日は Zoom ウェビナーのライブ配信にて実施します。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

「入門危機管理広報講座」実施概要

- 対象者 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者
- 本講座の特色
 1. 具体的な事例研究と実践的対策
 2. ソーシャルメディアリスク対応ノウハウの習得
 3. 最近の企業不祥事の傾向(トレンド)と今後の方向性
 4. 危機管理の基本(基礎)から具体的なクライシスコミュニケーション
(危機管理広報=メディア対応)の実務知識、スキルの習得
- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 日時 2020年11月27日(金) 10:00~16:00
- 講師 篠崎 良一 広報の学校 学校長(共同ピーアール株式会社)
中根 優作 (共同ピーアール株式会社)
- 受講料 40,000円(消費税、レジュメ代含む)
- 支払方法 請求書をお送りしますので、お支払い期限(12/25)までにお振込みください。
《振込先》 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982
口座名: 共同^{キョウドウ}ピーアール株式会社 セミナー^{グチ}口

【申し込み方法】 締め切り:11月24日(火) 18時

- ①メールの件名に「入門危機管理広報講座参加」と明記のうえ f-ooyagi@kyodo-pr.co.jp まで空メールをお送りください。
- ②事務局よりお申込み URL をお送りいたします。
- ③ご登録頂きましたメールアドレスに、当日の視聴用 URL をお送りいたします。

オンライン「入門危機管理広報講座」カリキュラム

時 間	講義テーマ	内 容	講 師
講座 1 10:00～10:50	新型コロナウイルス と 情報公開	感染者が発生した場合「対外的に公表するか、しないか」など、その情報の扱いについて今も多くの企業・団体が悩む状況にある。 企業の情報公開の流れや、それにまつわる様々な出来事なウオッチしてきた担当者が、事例を振り返りながら、情報公開のあるべき姿について考える	中根 優作
10:50～11:00		休 憩	
講座 2 11:00～11:50	ソーシャルメディア リスク対応 (炎上/デマ・風評)	炎上の企業リスク/新型コロナウイルスとデマ・風評リスク/未然防止策/炎上対策/リスク対応プロセス/対応のポイント	
11:50～12:50		休 憩	
講座 3 12:50～14:20	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド/危機管理の目的/リスクとクライシス/4つのリスク対応/リスク評価/危機管理広報とブランド回復プロセス/なぜ失敗するのか/平常時広報と危機管理広報の違い/プロセス/5つのダメージ/企業批判の三分野/危機管理の基本	篠崎 良一
14:20～14:30		休 憩	
講座 4 14:30～16:00	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務/マスコミの企業不祥事への視点/電話対応のポイント/対面取材のポイント/緊急記者会見が必要なケース/緊急記者会見の意味と基本原則/記者会見対応のポイント/避けるべき失言/出席者の注意/コメントの注意/態度/Q & A作成のポイント	

<講師プロフィール>

●篠崎 良一

広報の学校 学校長(共同ピーアール株式会社)、広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同ピーアール株式会社入社。取締役副社長を経て現職。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概説』(共著、同友館)、『広報・PR実践』(共著、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。(社)日本PR協会認定『PRプランナー』試験委員。

●中根 優作 (共同ピーアール株式会社)

東海テレビ放送報道制作局にて番組ディレクター等を担当。退職後はテレビCMの制作現場を経て、(財)2005年日本国際博覧会協会 広報・報道室に勤務し、愛知万博(愛・地球博)の広報を担当。2006年、共同ピーアール入社。危機管理広報・炎上リスク対応のコンサルティング、危機管理広報マニュアル作成やメディアトレーニングのトレーナーなどを務める。

【お問い合わせ先】 メールでお願いいたします。担当が一両日中にはご返信をいたします。

宛先: f-ooyagi@kyodo-pr.co.jp (担当: 大八木)

共同ピーアール株式会社 広報の学校 〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 TEL03-3571-5179